

活動名	府 SA 連協南ブロック交流会	活 動	□定例 ■不定期
活動会場	和泉市人権センター	報告者	大川
活動月日	2024 年 1 月 29 日 13:30~16:00	推進リーダ	百々
活動内容	南ブロックおもちゃづくり交流会		
スタッフ名	いずみ SA 担当スタッフ	* 来賓村松理事長	
参加者	堺 SA、SA 藤井寺、SA 河内長野、SA はびきの、いずみ SA		

活動概要 合同開催交流会 \*担当地区いずみ SA さんお世話になりました、有難うございました。

内容 = ・来賓挨拶理事長 (村松)。

・各講師演壇でレクチャー後、各地区コーナーで実技交流。

・修了後コーヒータイムで懇談 ・修了挨拶ブロック長 (大川)



・南ブロックおもちゃ交流会参加者



・理事長挨拶 (村松)



・堺 SA 講師 レクチャー



・SA 藤井寺講師レクチャー



・SA 河内長野講師 レクチャー



・いずみ SA 講師 レクチャー



堺 SA 紙コップの  
・「ヘリコプター ・かご」



SA 藤井寺  
・「UFO・ブンブンコマ (松風ごま)」



・ SA 河内長野 「筒の風車・クルクルコッコ」



・「猫とねずみ・リングリング、グライダー」



・「研修風景 1」



・「研修風景 2」

所感 ①交流会、おもちゃづくりを通じての交流。 ②自助・共助・公助の意識改革。

「・\*ものづくりでのノートレ・\*人との関わり笑い。・\*担当地区への移動=運動」 3つの課題解決。  
この3つの課題を完璧に実行している人を1とすると全く何もやらない「教育者=今日行く所が無い人  
教養人=今日用事無い人」は、比較すると16倍のフレイルリスクがある。交流会良い事だと思う

\*自助・共助・公助は福祉のキーワード思っていたが、直近の能登地震、中期には海南トラフ（5倍～7倍  
の被害） 「公助は当てにならない、自助で災害予防取り組み、共助で助け合いの取り組みは、避けて通れ  
ない。市場各組織（府 SA 連協・地区 SA にも言える事）共通する事と捉えている。 大川